

# 専修大学 図書館だより

## 2022.4.1 No.100

### 第100号刊行記念号 図書館だよりから見る専修大学図書館のこれまでとこれから

#### 図書館の昔と今

図書館長・文学部教授 廣瀬 玲子

1987年から発行してきた『図書館だより』は100号を数えます。この間、大学図書館のあり方は大きく変わってきました。図書館と言えば、かつては、読書をしたりノートをとったりする場所、あるいは借りたい本があれば、カードボックスを調べ、番号をメモして書架に行き、本を探して借り出す場所。いずれにしてもひとりで静かに過ごす場所でした。

もちろん現在でも、図書館は、ひとり静かに本を読んだり勉強したりするための大切な場所でありつづけていますが、そのほかに、グループで学修するための部屋もあれば、映画を見るスペースもあります。

蔵書検索はOPACでおこない、いちいちメモしなくても検索結果をプリントアウトすることができます。また、図書館に足を運ぶことなく、電子書籍の閲覧やデータベースからの雑誌記事のダウンロードをすることもできるようになりました。

大学のアカウントを持っている皆さんには、ぜひOPACのMy Libraryを活用してほしいものです。借りている本の返却期限も確認でき、次の予約が入っていないければ1回は期限の延長もできま

す。今度、見に行こうと思う本をブックシェルフに登録しておく、とても便利です。

時代は移り、図書館のあり方が変わっても、変わらないこともあります。大学図書館の醍醐味は、やはり街の図書館や書店ではなかなか目にすることのない学術図書の所蔵です。皆さんがそれぞれ、専門に学ぼうとしている分野には、この本はぜひ読んでおかねばならないという基本図書があるはずで、それは最近の出版物とは限りません。何十年も前に出版されていても、古くならない本があるのです。

また、それぞれの分野の「古典」と呼ばれる本には、さらに何百年も、あるいはもっと昔のものもあります。それを読めること、読んで理解できることに驚き、また、本当に理解できているのか疑い、何度も読み返してください。そのような経験こそが、学問に触れることなのです。図書館に入ったときに感じる独特のにおい、本を手に取りページをめくるときの手ざわり。五感をはたかせて、図書館を楽しんでいただきたいと思います。

図書館だよりとしての発行はこれで終わりますが、今後は、図書館のホームページで開館時間をチェックしたり、My Libraryを利用したりするついでに、図書館から発信されるお知らせにも目を向けていただければ幸いです。

#### 「専修大学図書館だより」休刊のお知らせと図書館の「これから」について

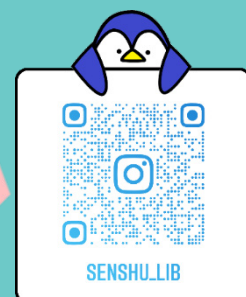
「図書館だより」は、2022年4月の第100号刊行をもちまして休刊いたします。

100号記念の今回は、専修大学図書館の「今」をお伝えしてきた前身の「図書館ニュース」そして「図書館だより」を第1号から辿り、図書館の「これまで」を振り返ります。刊行当初はB5判8ページの小冊子でしたが、時代の移り変わりとともにA4判となり、ミニブック形式、A3判リーフレットとサイズやデザインも変化しました。時には紙面の裏をブックカバーとして活用できるものなど、常に利用者の皆さんの手許にあるよう工夫を重ねてきました。近年は、より多くの方に閲覧してほしいとの想いからPDF形式を図書館ホームページで公開する方法で刊行してきました。

時代の変遷をも反映してきた「図書館だより」ですが、100号を一区切りとして休刊することとなりました。これまでのご愛読ありがとうございました。

今後の専修大学図書館の「今」そして「これから」は、図書館ホームページや図書館公式インスタグラム、YouTubeなどオンラインツールも活用しながら発信していきます。皆さんの好奇心を刺激し、思考力や創造力、情報活用力を高められるような情報をリアルタイムでお届けしますので、ぜひチェックしてください。専修大学図書館の「これから」は、皆さんの未来のために様々なサービスの充実を目指して進化していきます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

図書館公式インスタグラムで  
情報を発信します！



# 図書館だよりから図書館の変遷を振り返る

図書館ニュース  
創刊号(1954)

図書館だより  
第34号(1998)

## 図書館年表(\*図書館だよりトピックス)

|                   |                                                              |
|-------------------|--------------------------------------------------------------|
| 1954. 4<br>(創刊号)  | *『図書館ニュース』創刊                                                 |
| 1969. 4           | 生田新図書館開館(現生田分館)                                              |
| 1973.10           | 神田新図書館開館(現神田分館)                                              |
| 1987. 7<br>(第1号)  | *図書館だより第1号発刊<br>(復々刊第1号)                                     |
| 1989. 6           | 創立110年・フランス革命200周年「ミシェル・<br>ベルンシュタイン文庫展」を全国8会場で巡回展示          |
| 1989.12<br>(第6号)  | * (専修大学創立110年 フランス革命200周年)ミシェル・ベルンシュタイン文庫展一人権および             |
| 1990. 4<br>(第7号)  | 市民権の宣言ー、Part II                                              |
| 1993. 4<br>(第16号) | *OPAC 検索はじまる!                                                |
| 1998. 1<br>(第32号) | *図書館今昔ー目録編ー                                                  |
| 1998. 4<br>(第33号) | 生田新図書館開館(現本館)<br>*120年記念館に専修大学図書館オープン!!<br>New! toshokan MAP |

## 表紙デザインやサイズの移り変わり

図書館ニュース創刊号  
(手書き孔版 B5/4 ページ)



図書館ニュース第4号  
(活版 B5/4 ページ)



図書館ニュース第12号  
(B5/4 ページ)



第13号  
(B5/8 ページ)



図書館だより第1号  
(B5/8 ページ)



第14号  
(B5/8 ページ/二色刷り)



## トピックス

### 〔図書館だよりのはじめり〕

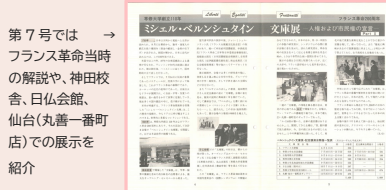
1954年4月、図書館と学生とが緊密に結びついて図書館の利用促進をはかりたいとの趣旨で「図書館ニュース」が創刊されました。1955年4月に第4号が活版印刷で刊行された後、一時中断。1957年7月に復刊し、以降は隔月刊で1963年4月刊行の第12号まで続きました。内容は、利用案内や教員、学生からの寄稿・投稿文などが中心でした。1987年7月に復々刊第1号となる「図書館だより」が名称を変えて刊行され、35年間の長きにわたり刊行を続けてきました!



←第6号では  
生田、石巻、美咲  
での展示を紹介

### 〔図書館だより第6号(1989.12 刊行)〕 〔図書館だより第7号(1990. 4 刊行)〕

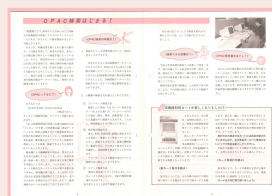
本学創立110年、フランス革命200周年を記念した「ミシェル・ベルンシュタイン文庫展」が1989年7月に生田図書館(現生田分館)で開催されました。その後約半年間にわたり全国8会場で巡回展示が行われ、各会場は連日多くの学生・研究者・地域の方々で賑わっていたことが伝えられています。



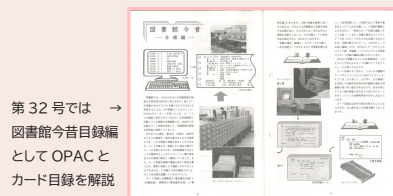
第7号では →  
フランス革命当時の  
解説や、神田校舎、  
日仏会館、  
仙台(丸善一番町  
店)での展示を  
紹介

### 〔図書館だより第16号(1993.4 刊行)〕 〔図書館だより第32号(1998.1 刊行)〕

「OPAC」とは、Online Public Access Catalog (図書館蔵書検索システム)の略語であり、図書館の膨大な蔵書の中から目的の資料を探し出すことができる仕組みです。本学では、1993年5月より館内に OPAC 専用端末を設置し、利用者自身が直接検索することが可能となりました。しかし、この頃検索できたのは、1993年度後期以降に収集した図書の一部に限られており、それ以外は冊子やカード目録を利用していました。



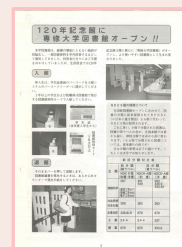
←第16号では  
新たなサービス  
となる OPAC について紹介



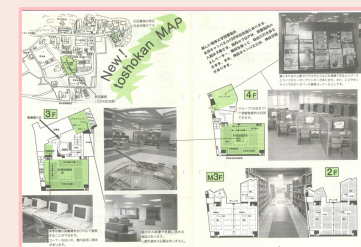
第32号では →  
図書館今昔目録編  
として OPAC と  
カード目録を解説

### 〔図書館だより第33号(1998.4 刊行)〕

1998年4月、120年記念館に生田新図書館(現本館)が開館しました。グループ閲覧室や AV プラザ(現アクティブラーニング・プラザ)、一人で使用可能な閲覧席などの施設を備え、これまでより更に使いやすく身近な図書館として生まれ変わりました!



オープンした新図書館を大きく →  
紹介しました! 学生証の磁気を  
読み取って入館ゲートが開く  
現在のシステムや、各フロアの  
詳細を図書館 MAP で解説



## <参考>もっと専修大学図書館の歴史に触れてみよう!

### 〔専修大学図書館百年史〕

1912年9月の専修学校図書館(当時)の創設から100年の節目として企画・編集作業が行われ刊行された百年史です。「本文編、資料編、年表」で構成され、本文編は1880年の開学当時から2012年までを基本とし、年表編には2016年4月までが掲載されています。開学から図書館設立への経緯や関東大震災、戦争を乗り越えた大学と図書館の歴史に触れることができます。

『専修大学図書館百年史: 部内資料 / 専修大学図書館編』  
請求記号: /017/Se73 所蔵館: 本館、神田分館



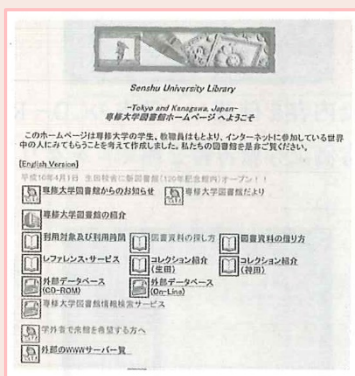
## 図書館年表(\*図書館だよりトピックス)

- 1998.12 (第 35 号) \*専修大学図書館情報検索サービス開設  
ー図書館ホームページー
- 2000.10 (第 42 号) \*閲覧用カード目録の廃止について
2001. 4 生田分館リニューアル開館  
120 年記念館に本館をオープンしたことにより、これまで本館機能を担っていた建物を分館にリニューアル
2002. 4 (第 48 号) \*ルカ=パチョーリ著『算術、幾何、比及び比例総覧』初版について
2004. 4 神田 8 号館 6 階に法科大学院分館開館
2008. 4 (第 64 号) \*特別展案内 専修大学図書館「特選」貴重書展  
ムーサの神殿ー時代を超え語り継がれた書物ー
- 2009.7 (第 68 号) \*図書館新システム紹介 新しくなった OPAC  
システム丸わかり！

この 10 年で OPAC も  
大きく変わりましたよ！  
(クリックで第 68 号へ)



## トピックス



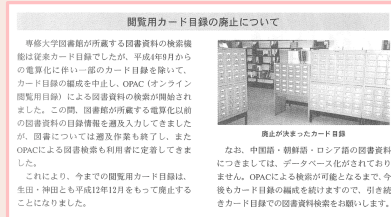
↑当時のトップ画面 現在のホームページ

### 〔 図書館だより第 35 号(1998.12 刊行) 〕

1998 年、今では当たり前となっているインターネットでの情報検索サービスが開始しました！と言っても、当時の OPAC から一部のデータを抽出してインターネット向けにデータベース化しただけのものでした。最初は洋書 27 万件を対象としていたようです。現在では OPAC 自体がインターネットに対応し、本学の所蔵約 200 万件のデータを検索できるシステムになっています！

### 〔 図書館だより第 42 号(2000.10 刊行) 〕

1993 年に OPAC での検索サービスが開始し、それ以降は過去の目録情報について、OPAC 用にデータ化を進めてきました。図書についてのデータ化が終了し、OPAC での検索も利用者に定着したため、2000 年 12 月をもって閲覧用カード目録が廃止されました。この頃までは、カードを使って本を探していたのです！



↑ クリックで第 42 号 PDF へ

カード目録で請求記号を確認し、書架に本を探しに行っていました →



## 表紙デザインやサイズの移り変わり

### 第 49 号



### 第 50 号



### 第 51 号 (B5/二色刷り)



### 第 52 号 (A4/カラー刷り)



### 第 63 号



### 第 64 号



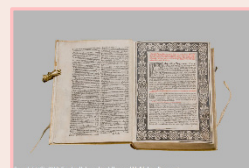
### 第 66 号



### 第 67 号



↑クリックで  
第 48 号 PDF へ



←「スムマ」標題紙  
画像をクリックすると  
貴重書ギャラリーへ

### 〔 図書館だより第 48 号(2002.4 刊行) 〕

2002 年 6 月から 7 月にかけて、「イタリア・ルネサンスの商人に宛てた贈物」という特別展示を開催し、「会計の父」とも称されるルカ=パチョーリ著「スムマ」の初版(1494 年)を展示しました。スムマの正式な書名は、「Summa de arithmetica, geometria, proportioni et proportionalita」、日本語では「算術、幾何、比及び比例総覧」となります。図書館だより第 48 号には、佐々木重人先生(現学長)に、ルカ=パチョーリやスムマについて詳しい解説を寄稿していただきました！

### 〔 図書館だより第 64 号(2008.4 刊行) 〕

2008 年 6 月に、丸善・丸の内本店で専修大学図書館「特選」貴重書展「ムーサの神殿ー時代を超え語り継がれた書物ー」を開催しました。藤原為経筆「源氏物語 桐壺巻」(1236 年)やルカ=パチョーリ著「スムマ」(1494 年)、アダム・スミス著「国富論」初版(1776 年)、「セタのさうし」(江戸時代)などを展示しました。専修大学図書館では、教科書で見たことがあるような図書も所蔵しています！



↑クリックで第 64 号 PDF へ

専修大学図書館ホームページには  
貴重書ギャラリー  
のページもあります！

# 図書館だよりから図書館の変遷を振り返る

図書館だより  
第 69 号(2009)

図書館だより  
第 100 号(2022)

## 図書館年表(\*図書館だよりトピックス)

- 2009.10 (第 69 号) \*特別展紹介 専修大学図書館特別展  
二つのモダン—江戸文化とフランス革命—
- 2011. 4 (第 73 号) \*専修大学学術機関リポジトリスタート!
- 2012.10 神田分館(1 階・地下 1 階)リニューアル開館
- 2014. 4 神田 5 号館ラーニング・コモンズ開館
- 2016. 4 (第 88 号) \*図書館ボランティア、始動!
- 2020. 4 (第 96 号) Knowledge Base(靖国通り分館)開館  
\*Knowledge Base April 2020 OPEN !!
- 2022. 4 (第 100 号) \*図書館だより第 100 号を刊行し、休刊

専修大学図書館の「これから」は  
ホームページやInstagram、  
YouTube を見てね!



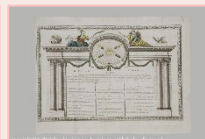
## トピックス



↑ クリックで第 69 号 PDF へ



↑ 向井信夫文庫より  
「雪梅芳譜」の草紙



↑ ミシェル・バルンシュタイン文庫より  
「人権宣言」

画像をクリックすると貴重書ギャラリーへ

[ 図書館だより第 69 号(2009.10 刊行) ]

専修大学特別展として「二つのモダン—江戸文化とフランス革命—」展が開催されました。江戸文化コーナーでは、故向井信夫氏(1916-1993)が収集した戯作(江戸時代後期小説)を中心とした作品数 4,000 作に上る膨大なコレクションの中から、読本「南総里見八犬伝」を中心に据え、浮世絵「八犬伝犬の草紙」全作などを展示しました。フランス革命コーナーでは、ミシェル・バルンシュタイン文庫史料から約 130 点を展示しました。

[ 図書館だより第 73 号(2011.4 刊行) ]

「専修大学学術機関リポジトリ」がスタートしました。専修大学学術機関リポジトリとは、専修大学の知的生産物(論文・報告書など)を電子資料として、収集・蓄積・保存し、国内外にインターネットを使って無償で提供するシステムのことで、登録された論文は Google や CiNii Articles(学術論文データベース)からの検索も可能となるため、研究者は研究成果を広く効果的に発信することができるようになりました。図書館だよりでも募集していた愛称は「SI-BOX」となりました!



↑ クリックで第 73 号 PDF へ

専修大学学術機関リポジトリ「SI-BOX」

## 表紙デザインやサイズの移り変わり

第 72 号



第 73 号



第 78 号

(A4/8 ページ)



第 79 号

(A3/8 折りミニブック)



この号からミニブック形式に!  
A3 を 8 分割して記事を作成し、  
折ることで手に取りやすい  
大きさになりました

第 87 号

(A3/8 折りミニブック)



第 88 号

(A3 リーフレット)



## ●図書館ボランティア、始動!●

魅力ある図書館づくりのために、図書館ボランティア・スタッフを募集します!



↑ クリックで第 88 号 PDF へ

[ 図書館だより第 88 号(2016.4 刊行) ]

魅力ある図書館づくりのために、2015 年 7 月から学生ボランティア・スタッフによる選書ツアー、選書展示、図書資料の点検などの活動がスタートしました! 現在は展示・館内整備・業務サポートの 3 班に分かれ、図書館ボランティア Compass として皆さんが図書館を利用する際の羅針盤となるように様々な活動を行っています。



↑ 裏面はブックカバーです!

[ 図書館だより第 96 号(2020.4 刊行) ]

2020 年 4 月、新たに完成した神田 10 号館の 13 階・14 階に新しい図書館がオープンしました。この図書館は、皆さんの知識を深める拠点となるよう『Knowledge Base』と名付けられました。グループ学修用のスペースの他、明るいカフェのような空間のソファ席、14 階からの眺望を楽しみながらゆったり座れる一人席等様々な座席がありますので、ぜひ皆さんのお気に入りの場所を見つけてください。



↑ クリックで第 96 号 PDF へ

Knowledge Base には →  
専修大学図書館で初めての  
自動貸出機も導入されています

